



広報誌へのご感想・ご意見をお待ちしています！

生活しやすく・日常生活を明るく

## 「形成外科」と「まぶたの病気」

形成外科ってどんな治療をするの？今回は、今年4月に診療をスタートした形成外科と、身近な「まぶたの病気」(眼瞼下垂症)をピックアップ！宮林ドクターが気になる治療内容などを優しくご紹介します。



### Q どんな診療をしているの？

QOL※(生活の質)という言葉をご存じでしょうか。形成外科は、体の表面に生じたさまざまな異常に対し、見た目や機能を正常に近づけることで、患者さまのQOL向上を目指す診療科で、一人一人が自分らしく、毎日を明るく過ごせるようお手伝いをしています。

形成外科では、生まれつきの異常(先天性)からけがや病気により起こった異常(後天性)まで、全身のあらゆるトラブルに対して主に手術治療を行います。対象とする病気は幅広く、新生児からご高齢の方まで、あらゆる年齢層の患者さまに寄り添った診療を行っています。

※Quality of Lifeの略

### Q どんな症状が対象になるの？

まぶたの異常では、垂れ下がり(眼瞼下垂)や逆さまつ毛(眼瞼内反)など、生まれつきの異常では耳の変形や手足の異常(多指症・合指症)、くちびるの異常(口唇裂)などの治療を行っています。

また、皮膚や皮膚の下できもの(良性腫瘍・悪性腫瘍)、けが(擦り傷・切り傷)、やけど(熱傷)、顔面の骨折、傷あと、床ずれ(褥瘡)、治りにくい掘れた傷(難治性潰瘍)、その他さまざまな体表の異常に対応しています。

お困りの方は、  
形成外科へ  
お気軽にご相談  
ください



形成外科 医師  
みやばら あさこ  
宮 林 亜沙子

日本形成外科学会認定形成外科専門  
医。札幌医科大学附属病院を経て  
2026年4月着任

#### マイブーム：

お散歩が好きで、時間が空いた時は  
病院の周りをお散歩しています。

#### 江別について：

現在2児の子育て中です。市内の子連れおすすめ  
スポットを探しています。ぜひ教えてください！

#### 大切にしていること：

「思い立ったらすぐ行動！」が私のモットー。  
悩む時間自体がストレスでもったいないので、  
悩むのは一晩だけ。それでも答えが出ない時は、  
まず行動に移すよう心がけています。

#### 形成外科 外来日程表▶

☎382-5151

形成外科外来へ



次ページでは  
「眼瞼下垂症」を  
詳しくご紹介しています



病院まつりを  
開催します

開院75周年を迎えた今年、10/10(土)に「病院まつり」を開催します。健康づくりに役立つ情報や、医療の現場を身近に感じられるコーナーなどさまざまな企画をご用意します。詳細は当院HPなどでお知らせします。多くの皆さまのご来場をお待ちしています！

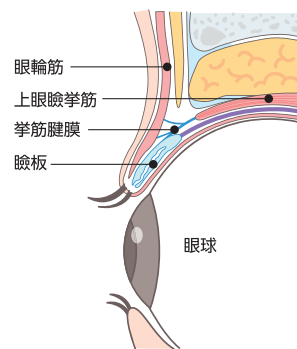
もしも…

# まぶたのことが、 気になりはじめたら ご相談ください

## がんけん か すい 眼瞼下垂症

眼瞼下垂とは、まぶたが垂れ下がり、上がりにくく、目が十分開きにくい状態のことです。眼瞼下垂を放置すると、徐々に視野が狭くなり、視力が落ち、日常生活にも不便が生じます。

### まぶたの仕組みと 眼瞼下垂の関係



まぶたは、皮膚や脂肪、筋肉、結合組織などが複雑に組み合わさった繊細な組織です。目を開ける仕組みも非常に精巧で、上眼瞼挙筋という筋肉が縮み、それに続く挙筋腱膜が、瞼板という板状の組織を奥へ引き上げることでまぶたを持ち上げます。挙筋腱膜が緩んだり、上眼瞼挙筋がうまく働かないと眼瞼下垂になります。

「もう年だからしょうがない」  
「生まれつきだからしょうがない」  
そう思って諦めていませんか？  
その症状、手術で治せます！

眼瞼下垂には次のような  
「先天性眼瞼下垂」と「後天性眼瞼下垂」があります

### 先天性眼瞼下垂症

生まれつきまぶたをあげる筋肉の力が弱いために、まぶたが下がっている状態です。重度の場合、視力の発達の妨げになる可能性があるため、眼科と連携しながら適切なタイミングで適切な治療を行う必要があります。片側、両側どちらもありませんが、両側や軽度の場合は気づかれにくく、眼瞼下垂と気づかずに生活している方が多いです。

### 後天性眼瞼下垂症

もともとは普通にまぶたが開いていた人が、少しずつまたは急にまぶたが下がってきた状態です。加齢や皮膚のたるみ、コンタクトレンズの長期使用、長時間のパソコン使用、アトピーや過剰なメイクでのまぶたのこすれ、神経麻痺、アレルギー疾患、外傷後のひきつれ、白内障や斜視の手術後などさまざまな原因で発症します。

## こんな症状があったら、眼瞼下垂症かもしれません。

下記の症状が思い当たる方は、眼瞼下垂の疑いがあります。気になる場合は、一度受診をおすすめします。

- ☐ まぶたが持ち上がらない
- ☐ 目がしっかり開きにくい
- ☐ 視野が狭い
- ☐ 上の方が見えづらい
- ☐ 肩こりや頭痛が続く
- ☐ あごをあげてものを見ている
- ☐ 眠たくないのに眠いか聞かれる
- ☐ 目つきが悪いと言われる
- ☐ 目を開けた時に眉毛があがっている
- ☐ おでこに深いシワがある
- ☐ 二重の幅が広がった



ドクター長谷部の川柳で学ぶ!  
高血圧予防のポイント①



は健康長寿の合言葉

☐に入ることは何かな?  
①濃味 ②薄味 ③甘味



ドクター長谷部の川柳で学ぶ!  
高血圧予防のポイント②

長寿にも 家計にも効く



☐に入ることは何かな?  
①腹八分 ②肥満 ③運動不足



## Q 眼瞼下垂 & A

### Q1 眼瞼下垂は何歳頃から なりますか?

**A1** 眼瞼下垂は“高齢者の病気”と思われがちですが、コンタクトやメイクの刺激など原因はさまざまで、若い方にも十分起こり得ます。特に生まれつき軽度だった方が進行し、10～40代で受診されるケースも増えていきます。私は大学病院で若い方の手術も数多く行ってきました。ただ治すだけでなく、機能と見た目の美しさの両方に配慮した治療が可能です。

### Q2 受診のタイミングは いつがいい?

**A2** 症状に心当たりがあり、少しでもつらさを感じたら早めの受診がおすすめです。進行するほど手術の負担が増え、皮膚の余りが多いと手術を2回に分ける場合も。また、おでこの深いシワや眉を上げる癖は時間とともに治りにくくなってしまいます。相談だけでも構いません。眼瞼下垂かもと思ったらぜひご相談を。

### Q3 眼瞼下垂の手術は 保険適用になりますか?

**A3** 「眼瞼下垂症」はれっきとした病気です! 病気の治療ですので、もちろん保険適用で治療が受けられます。なお、見た目を変えるための「埋没式重瞼術」などは美容医療になるため、当科では対応しておりません。

### Q4 主な治療法としてどんなものがありますか?

**A4** 次のような手術があります。なお、どの手術を行うかは診察時に患者さんの希望も聞いた上で、一緒に相談して決めていきます。

#### ① 挙筋前転術

挙筋腱膜が緩んでいる場合に行う手術です。緩んだ挙筋腱膜を、糸で瞼板に固定します。固定する位置でまぶたの上がり具合を調整します。後天性の多くの症例ではこの治療法で改善が得られます。

#### ② 眉毛下皮膚切除術

まぶたの皮膚のたるみが強い場合に行う手術です。眉毛の下の厚い皮膚を切除し、たれ下がった皮膚、眼輪筋を引き上げます。

#### ③ 前頭筋吊り上げ術(筋膜移植術)

上眼瞼挙筋の力がかなり弱い場合に行う手術です。まぶたの筋肉は動かないため、まぶたと、おでこの筋肉(前頭筋)の間に筋膜を移植し、おでこの筋肉の力でまぶたを上げるようにします。筋膜は太ももから採取します。

### 江別市立病院の まぶた外来

まぶたの気になる症状について一人一人丁寧に、ご希望に寄り添う治療法を一緒に考えます。局所麻酔の手術なので、日帰り・入院どちらでも可能です。入院の場合は、手術当日に入院し、翌日診察後に退院する1泊2日のスケジュールになります。



▲まぶた外来

■診療日程 水曜日午後 ※完全予約制  
■予約・問合せ ☎382-5151(代表)  
形成外科外来へ



江別市の皆さんは、今まで形成外科がなくて我慢していたのか、重度の眼瞼下垂で受診される方が多くいらっしゃいます。重度の方はもちろん、若い方や軽度の方でも治療は可能です。我慢せず、ぜひ一度受診していただいて明るい毎日を手に入れましょう!

今回は、今年4月に着任した大上医師による  
「股関節」についてのお話です。

元公務員から医師へ！  
自分らしい生活を支える医療を目指して

こんにちは。4月より江別市立病院整形外科  
に着任しました大上哲郎です。

私は北海道大学を卒業後、一度公務員とし  
て勤務し、その後、旭川医科大学に編入し、医  
師となりました。

整形外科を選んだきっかけは、指導いた  
だいた医師たちの雰囲気の良いさでした。これま  
で道内各地の病院で勤務し、骨折などの外傷  
治療や、股関節を中心とした変形性関節症な  
どの治療に携わってきました。

整形外科では、「痛みを取る」だけでなく、  
「また歩けるようになる」「自分らしい生活を取  
り戻す」ことを大切にしています。地域の皆さ  
まのお力になれるよう努めてまいりますので、  
どうぞよろしくお願いいたします。

股関節の痛みは  
早めの治療で悪化を防いで！

私たちへお気軽に  
ご相談ください！



整形外科外来のスタッフと（前列左から2人目が大上医師）

その痛み、「年齢のせい」だけでは  
ないかもしれません

整形外科では、骨折や腰痛だけではなく、  
肩・膝・股関節などの痛みや動きの悪さについ  
ても診療しています。中でも股関節の痛みは、  
「年齢のせいだから」と我慢されている方が多  
い症状のひとつです。

最近、次のような症状はありませんか？

- 歩くと足の付け根が痛い
- 階段がづらい
- 立ち上がる時に痛む

このような症状がある場合、「変形性股関節  
症」という病気の可能性があります。

変形性股関節症は、股関節の軟骨がすり減  
り、痛みや動きの悪さが出る病気です。進行す  
ると歩行が難しくなり、日常生活に支障が出る  
ことがあります。

治療は、薬やリハビリを中心に行い、症状が  
強い場合には人工股関節の手術を行うことも  
あります。近年は治療やリハビリも進歩して  
おり、早い回復が期待できるようになっています。

股関節の痛みは、早めの治療で悪化を防げ  
る場合があります。「年齢のせい」と我慢せず、  
お気軽に整形外科へご相談ください。



4月に着任した大上医師

- 日本整形外科学会認定整形外科専門医
- 日本骨粗鬆症学会認定医

マイブーム：

家でお好み焼きをすることです。また、  
将来に向けて投資の勉強もしています。

健康で気を付けていること：

週1回の筋トレと週2～3回の  
ランニングを続けています。

整形外科では午後診療も行っています！

※月曜日は肩専門外来です。受付時間等、  
詳細は外来診療日程表をご覧ください

整形外科 外来日程表▶

☎ 382-5151  
整形外科外来へ

